

令和3年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山福祉短期大学

代表学生：宇波 優梨恵

指導教員：米田 晶

| | |
|---|--|
| <p>研究題目 (応募部門)</p> | <p>富山県の観光地を訪れる観光客の価値構造の推定と検証</p> |
| <p>研究概要</p> | <p>本研究は、富山県の代表的な観光地である「立山（室堂）」を訪れる観光客はどんな価値を求めて訪れているのかを明らかにすることを目的としている。</p> |
| <p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p> | <p>まず、マーケティング・サイエンスの基礎（定量的調査、定性的調査、一次データと二次データ、データの収集方法など）について学び、「参与観察」の手法と観察項目をグループに分かれて確認した。</p> <p>次に、立山黒部貫光株式会社のご協力を得て、立山黒部アルペンルート「室堂ターミナル」で、観光客の行動、グループの人数等を「参与観察」するフィールドワークを実施した。どんな人たちがどんな雰囲気を楽しんでいるのかを確認した後、オンラインでのアンケート調査を実施した。アンケート調査に際しては、URLをQRコードにして読み取ってもらうことで、ソーシャルディスタンスを取れるように工夫した。</p> <p>フィールドワークの結果をフィールドノートにまとめ、ラダリング法を使って仮説を抽出した。この仮説を確認するために、KJ法を使ってアンケート項目を作成し、オンラインアンケートを実施した。この調査結果から、仮説を検証した。</p> |
| <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p> | |



高原バスで美女平→
室堂ターミナルへの移動時



室堂平の雪の大谷にて参与観察した内容を、
各自携帯電話のメモ機能を使って記録中



午後から室堂にて、来場者に QR コードを
使ってアンケートを実施



帰路、美女平のケーブルカー乗り場にて